

宮水コミスク通信

令和3年度
第2号
令和4年2月18日（金）
日之影町立宮水小学校

本年度、町内一斉にコミュニティ・スクールの取組がスタートしました。言わば「コミュニティ・スクール元年」となります。コミュニティ・スクールとは、学校・保護者・地域の代表者が一堂に会し、学校の運営について話し合う学校運営協議会を設置している学校のことです。代表者だけによる協議で終わることのないよう、この学校運営協議会の内容を地域の皆様方にもお知らせすることによって、宮水小学校の在り方について、まずは関心をもっていただきたいという思いがあります。そして、地域・家庭・学校が力を合わせて学校運営を行うことによって、「地域とともにある学校づくり」を目指していきたいと思っています。今後とも、御理解と御協力をお願いいたします。



【本年度の主な内容】

- 6月30日 第1回…学校教育現状説明(町教委)、学校経営方針説明及び委員の承認
10月27日 第2回…これまでの学校の取組の経過説明及び協議
2月15日 第3回…今年度の取組及び次年度の方向性の説明、協議

第3回学校運営協議会終る

【日程】

- 開会行事
- 本年度の取組と次年度の方向性の説明(プロジェソを使って)
- 授業参観

主に、子どもたちの学習態度やICTを活用した授業の様子について熱心に参観していただきました。

グループ協議の
主な内容は裏面に
印刷してあります。



【たんぽぽ学級】

【5年生教室】

【6年生教室】

4 グループ協議

家庭、地域の2つのグループに分かれて、前半に「学校の説明及び授業参観について」、後半に「家庭及び地域の役割について」活発に意見を出していました。あっという間に時間が過ぎてしまったので、もう少し長く協議ができるよう時間の設定を工夫する必要性を感じました。

- 全体会（各グループの報告）
- 閉会行事
 - 高館会長あいさつ
 - 教育委員会説明（評価について）
 - アンケート記入



【家庭グループ（手前）】

【読書活動に関する意見】

- 高学年用の本が少ないので、業者が持ってくる本だけでなく、一般で販売しているような本の中からでも本を購入できるようなシステムができるとよい。県図書館、町図書館と学校図書館をつないで、学校の図書室でも図書館の本が検索できるシステム作りをしていく予定もある。

【あいさつに関する意見】

- 学校での指導もあり、よく挨拶はしている。挨拶は人とのつながりを作るもので、大切なものであることを子ども達に繰り返し伝える必要がある。挨拶はコミュニケーションのスタートになる。挨拶が出来なければ会話もできない。小学生でやってきたことは、大人になっても生かされる。

【体力向上に関する意見】

- 柔軟性が低いように感じる。家でゲームばかりしていて、姿勢が固まっているのではないか。柔軟性は全国平均と比べて低くはないが、スポーツ少年団の児童も多く体力の二極化も見られる。

【家庭と学校の目標の共有化に関する意見】

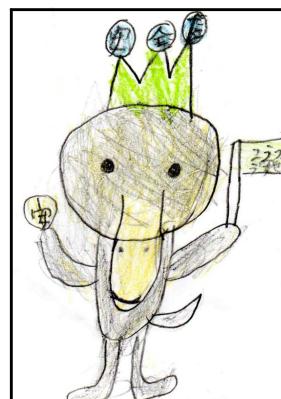
- 学校の目標や取組は家庭によく伝わっている。さらに、学校の取組等をもっと広げるために町のデータ放送なども利用してもよいのではないか。

【プレゼン及び授業参観における意見】

- 前回は授業中の子どもと先生の言葉遣いが気になったが、今回は気にならなかった。（改善されていた）最近は、子どもと先生との言葉遣いが、馴れ合いになる傾向がある。子どもと先生の距離感が大切である。
- タブレットPCで漢字の学習をしていたが、指で書かせるのではなく、タッチペンでしっかりと書かせた方が正しく身に付くのではないか。
- 午後11時以降に就寝している児童もいるようだが、原因はゲームやスマホではないか。果たして親がしっかりと注意できているのだろうか。
- 1次評価（学校）と2次評価（保護者）の差が大きい項目がある。この差を埋める努力が必要ではないか。特に、ICT活用の項目の差が大きいが、これは学校の取組に対する理解が、保護者側に不足しているからではないか。学校がもう少し理解を深める手立てをとるとよい。

【地域にできることについての意見】

- 5年生の米作り体験は、貴重な学習の機会となっている。しかし、学校田の水の管理が大変である。地域の協力を得ることはできないか。発想を変えて、例えば、地域の田を借りる。または、保護者の田を借りるということも考えられるのではないか。
- やはり、学校の近くにないと子どもたちの学習（アイガモの世話等）がやりにくいので難しいのではないか。
- 一人のがんばりに頼るので続かないで、水の管理については、地域全体でやるような体制づくりにシフトしていくよう努力する必要がある。
- 朝の交通立ち番（見守り）の体制を強化していく必要がある。学校職員が担っている箇所にも地域住民が立つと、学校職員が出張の場合でも安全が担保できるのではないか。



【宮水小マスコットキャラクター】

工藤琉聖さん(3年)作
【安全がもちゃん】

宮水小でお世話になったアイガモと交通安全をまぜて、安全がもちゃんにした。